

2017 年度 事業報告

【事業の概況】

(A) 助成公演事業

音楽を志す人々の活動を支援するために、青山音楽記念館（バロックザール）を使用し、条件を満たした演奏会を開催される方に、ホール使用料の約 3 分の 2 を助成しています。

【実績】

2017 年度 69 公演 6,016,200 円（1 公演平均助成額 87,191 円）

参考：昨年度は、65 公演 5,811,000 円（1 公演平均助成額 89,400 円）

(B) 新人助成公演事業

青山音楽賞新人賞を希望する全ての人の金銭的な負担を軽減し、均等に演奏会開催の機会を持つことができるよう助成を行っています。ホール使用料や付帯設備使用料をはじめ、チラシやプログラムなど印刷費等を一定条件の下、財団が全額負担しています。ただし水、木、金曜日以外の新人賞参加者は新人助成対象になりません。（助成公演事業の対象）

【実績】

2017 年度 3 公演 1,000,841 円（1 公演の平均助成額 333,614 円）

参考：昨年度は、5 公演 1,616,046 円（1 公演の平均助成額 323,209 円）

(C) 顕彰事業

(1) 青山音楽賞（新人賞・青山賞・バロックザール賞の三賞の総称）。

財団が運営する青山音楽記念館（バロックザール）で、毎年 1 月から 12 月までの期間に開催された公演の中から選考し、個人又は団体に授与します。

< 新人賞 >

演奏会当日 25 歳以下の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 100 万円、音楽研修費 200 万円及び研修成果披露演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

< 青山賞 >

演奏会当日 26 歳以上の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2 名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 150 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

< バロックザール賞 >

個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会以外の演奏会を対象に財団が選考し、2 組以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金 200 万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限 50 万円）。

(2) 審査体制

青山音楽記念館（パロックザール）で開催された公演で、音楽賞参加の申し込みのあった公演を対象に、各界より推薦された約 20 名（審査委員 8 名、選考委員 13 名、合計 21 名 / 2017 年度末現在）の審査選考委員が原則として直接来館し、該当する演奏会を聴き、各選考委員が音楽賞候補者を推薦。その結果を基に審査委員会で審議して受賞者を選出し、理事会の承認を経て受賞条件の一つである授賞式の出席を確認した後、受賞者を決定します。

(3) 青山音楽賞授賞式

2018 年 3 月 3 日（土）青山音楽記念館に於いて「2017 年度 第 27 回青山音楽賞授賞式」を実施。贈賞式後、受賞者演奏を開催。本年度は来賓として駐日ウクライナ特命全権大使のイーホル・ハルチェンコ氏を迎えました。

(4) 平成 29（2017）年度 第 27 回 青山音楽賞 受賞者

< 新人賞 > 本年度は 2 名を選出

黒岩航紀（ピアノ）

受賞公演：2017 年 9 月 2 日（土）『黒岩航紀ピアノリサイタル』

森田啓佑（チェロ）

受賞公演：2017 年 9 月 3 日（日）『森田啓佑チェロリサイタル』

< 青山賞 > 本年度は 2 名を選出

本條秀慈郎（三味線）

受賞公演：2017 年 10 月 8 日（日）『第 5 回本條秀慈郎三味線リサイタル』

アレクセイ・グリニューク（ピアノ）

受賞公演：2017 年 12 月 17 日（日）『アレクセイ・グリニュークピアノリサイタル』

< パロックザール賞 > 本年度は 2 組を選出

アンサンブル・レ・フィギュール

ポール＝アントワーヌ・ベノス・ディアン（カウンターテナー）

榎田摩耶（パロックヴァイオリン） 石橋輝樹（フルートトラヴェルソ）

原 澄子（ヴィオラ・ダ・ガンバ） 會田賢寿（チェンバロ）

受賞公演：2017 年 2 月 12 日（日）

『アンサンブル・レ・フィギュール カンタータフランセーズ～愛のかけら～』

テディ・パパヴラミ（ヴァイオリン） & 岡田真季（ピアノ）

受賞公演：2017 年 4 月 15 日（土）

『テディ・パパヴラミ & 岡田真季 デュオリサイタル』

(5) 青山音楽賞 受賞記念演奏会 / 研修成果披露演奏会

【開催実績】

受賞記念演奏会

2017 年 9 月 24 日（日）『ヴェセリン・パラシュケヴォフ & 村越知子 デュオリサイタル』
（ヴァイオリン・2015 年度パロックザール賞受賞）

2017年12月16日(土)『藤木大地 カウンターテナー・リサイタル』
(カウンターテナー・2015年度青山賞受賞)

研修成果披露演奏会

2017年5月13日(土)『福井麻衣ハープリサイタル』(ハーブ・2012年度新人賞受賞)
2017年12月10日(日)『深見まどかピアノリサイタル』(ピアノ・2012年度新人賞受賞)
2017年12月24日(日)『萬谷衣里ピアノリサイタル』(ピアノ・2014年度新人賞受賞)
2018年1月14日(日)『上敷領藍子ヴァイオリンリサイタル』
(ヴァイオリン・2011年度新人賞受賞)

(6) 音楽研修

【実施実績】

山根一仁(ヴァイオリン・2015年度 新人賞受賞)

研修目的：ドイツ・ミュンヘン音楽大学に在籍し、ソロ、室内楽、オーケストラでの演奏を学ぶ。クリストフ・ポッペン氏に師事予定。日本で作り上げてきた自身の音楽にヨーロッパで習得する新しい要素を取り入れることにより、演奏家としての成長を目的とする。

研修期間：2018年3月1日～2019年3月1日

上野通明(チェロ・2016年度 新人賞受賞)

研修目的：ドイツ・デュッセルドルフ音楽大学 ドイツ国家演奏家資格取得コースに在籍し、バロック奏法、モダン奏法を学び、技術向上を目指す。ピーター・ウィスペルウェイ氏に師事予定。新しい技術と解釈の取得により豊かな独自の演奏スタイルの形成を目的とする。

研修期間：2017年10月4日～2019年3月4日

(D) 貸ホール事業

音楽ホールの利用は助成公演が大半を占めますが、助成公演以外に、一般公演、音楽諸団体の発表会やリハーサルでの貸出、またレッスン室は音楽教室としての貸出や個人練習の場所提供等、音楽の裾野を広げ、音楽の発展のための事業も行なっています。なお、音楽目的以外の貸出しは行っておりません。

【稼働実績】

ホール：総稼働日数 103日(昨年度は94日)

レッスン室：5部屋の総稼働時間 77.5時間(昨年度は130時間)

2017年度 ホール使用内訳

種別	利用日数
ホールリハーサル	2
一般公演	5
共催公演	1
研修成果披露演奏会	4
主催公演	6
受賞記念演奏会	2
授賞式	1
助成公演	71
奨学生成果披露演奏会	3
新人助成	2
発表会	5
録音	1
総計	103

(E) 主催公演事業

著名演奏家や将来有望と期待される演奏家の公演を財団が主催し、音楽の普及に務めています。

(a) 主催公演

【実績】

2017年7月16日(日) 『ジャン・ワン(チェロ) & 小山実稚恵(ピアノ)』

(チケット料金 5,000円)

2017年10月1日(日) 『ラファウ・プレハッチ ピアノ・リサイタル』

(チケット料金 5,000円)

2017年10月15日(日) 『アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン) & セドリック・ティベルギアン(ピアノ) デュオ・リサイタル』

(チケット料金 4,000円)

2017年11月25日(土) 『エリソ・ヴィルサラゼ(ピアノ) & アトリウム弦楽四重奏団』

(チケット料金 5,000円)

2017年12月3日(日) 『店村眞積(ヴィオラ) & 練木繁夫(ピアノ)』

楽壇生活40周年記念公演 店村眞積ヴィオラ・リサイタル』

(チケット料金 4,000円)

2018年1月26日(金) 『チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル』

(チケット料金 4,000円)

(b) 共催公演

理事会の決定により、ホール使用料等の演奏会開催経費を財団が負担する公演。

【実績】

2018年2月22日(木)『京都市立京都堀川音楽高等学校 第12回ピアノコンサート』
(共催:京都市立京都堀川音楽高等学校/公益財団法人青山音楽財団)

(F) 育成支援事業

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対する支援を行っています。

(a) 奨学金事業

【事業内容】

音楽大学又は音楽学部にて在籍している大学生に関して、学業に専念できるよう奨学金をもって支援を行っています。

【選考方法】

毎年1回、音楽学部のある大学の中から財団の理事会において約9校を指定し、指定校に対して募集要項等を配付して公募を行います。指定された大学は、学内選考により推薦者を決定し、当該学生の推薦書等を財団へ提出。その資料と財団の奨学金規程に基づき、学識経験者を含む財団選考委員会の審議を経て、理事長が決定。

【指定校】

音楽学部のある国公立大学4校及び私立大学より5校を指定。私立大学については、レベルの保持のために、過去に財団の青山音楽賞を受賞した方が関係する大学より指定。

【支給対象者及び支給額】

支給対象者(人数)...音楽大学又は音楽学部にて在籍している大学生 45名程度/1年
支給額...年間60万円(月額5万円)/1名

【給付方法】

原則として1名に対する支給期間は1年とするが、最長4年まで継続可

【成果発表】

奨学金支給学生に対し、奨学金支給終了時に特別の事情がない限り、財団の指定する時期に、青山音楽記念館(バロックザール)で開催する奨学生成果披露演奏会で演奏発表いただきます。

【実績】

本年度は、育成支援選考委員会において検討の結果、東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、愛知県立芸術大学、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、相愛大学、沖縄県立芸術大学の9大学を指定しました。各大学に奨学生募集要項と奨学生推薦願い、応募書類様式を送付し、各大学より極めて優秀な奨学生を推薦して頂き、平成29(2017)年5月10日に応募を締め切り、6月1日の同委員会における審議を経て、理事長が奨学生を決定しました。各大学からは、候補者の推薦にあたり、オーディション等の公募を行った旨の報告があり、候補者計45名の推薦がありました。

(内訳)

- ・東京藝術大学 17名
(作曲1名、声楽3名、ピアノ4名、弦楽器3名、管楽器3名、邦楽3名)
- ・東京音楽大学 2名(ピアノ2名)
- ・桐朋学園大学 4名(ピアノ2名、弦楽器2名)
- ・愛知県立芸術大学 4名(作曲1名、ピアノ1名、弦楽器1名、管楽器1名)
- ・京都市立芸術大学 9名
(作曲1名、ピアノ2名、弦楽器2名、管楽器1名、声楽2名、音楽学1名)
- ・同志社女子大学 1名(ピアノ1名)
- ・大阪音楽大学 2名(ピアノ1名、管楽器1名)
- ・相愛大学 4名(ピアノ1名、弦楽器1名、管楽器2名)
- ・沖縄県立芸術大学 2名(ピアノ1名、声楽1名)

また、成果発表として、公演名を「第5回公益財団法人青山音楽財団 奨学生成果披露演奏会 若き音楽家たちによる音の祭典」とし、平成30(2018)年3月10日(土)、3月11日(日)、3月17日(土)に青山音楽記念館(バロックザール)に於いて実施しました。

(b) 学校等支援事業

【事業内容】

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対し、学生・生徒等がより充実した音楽活動を行いやすい環境をつくるための支援事業を行います。

【選考方法】

毎年1回、チラシ・ホームページ等で、大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等から音楽支援希望を公募。応募校等に対して財団指定の申請書の提出を求め、財団選考委員会の審議を経て、理事会の承認により決定。

【支援内容】

年間総額1千万円以内で、1応募に対して上限300万円の支援を行います。

【報告】

実施事業の報告書を、活動終了後1ヶ月以内に提出していただきます。

【実績】

2017年度第6回学校等支援事業は、2017年4月1日から2018年3月31日に実施される事業を対象として募集を行い、出願期間を2016年11月2日から11月30日として、チラシ・ホームページで公募。2016年12月21日の同選考委員会にて選出し、2017年1月9日の理事会にて下記の8件を決定。

	団体名	内容	種別	申請額 (単位：円)	採択金額 (単位：円)
1	上野学園石橋メモリアルホール	ヴィオラスペース 2017 Vol.26～フランスが生み出した芸術音楽	公演	1,000,000	500,000
2	桐朋学園大学音楽学部	ヴィオラ購入	備品	3,000,000	2,000,000
3	東京藝術大学音楽学部音楽研究センター	音楽に関する入手困難な貴重資料購入	備品	780,000	750,000
4	特定非営利活動法人東京ジュニアオーケストラソサエティ	東京ジュニアオーケストラソサエティ 第 18 回定期演奏会	公演	1,500,000	450,000
5	NPO 法人 倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ	弦楽器購入	備品	1,300,000	1,000,000
6	京都市立芸術大学	5 弦コントラバス購入	備品	2,200,000	1,500,000
7	公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団	第 13 回ジュニアオーケストラコンサート	公演	1,000,000	500,000
8	東京音楽大学	学校法人 東京音楽大学 創立 111 周年記念オペラ公演《ラ・ボエーム》	公演	3,000,000	1,000,000
				計	7,700,000

<事業報告の附属明細書>

2017 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

【処務の概要】

1 役員等に関する事項

2018年3月末現在

役名	氏名	就任年月日	役職	報酬	兼職
理事	田中美鈴	平成29年6月24日重任	理事長	有	
理事	青山 敦	平成29年6月24日重任	常務	有	立命館大学大学院教授
理事	桑木小恵子	平成29年6月24日就任	常務	有	税理士
理事	青山裕司	平成29年6月24日重任		有	(有)ヴィッセンシャフト代表取締役
理事	岡田暁生	平成29年6月24日就任		有	京都大学人文科学研究所教授
理事	藏野雅彦	平成29年6月24日就任		有	京都市立京都堀川音楽高等学校 改革推進コーディネーター
理事	潮江宏三	平成29年6月24日就任		有	京都市美術館館長
理事	長尾 真	平成29年6月24日就任		有	京都府公立大学法人理事長
理事	藤田裕之	平成29年6月24日就任		有	レジリエント・シティ京都市総括監
監事	高野真紀子	平成29年6月24日重任		有	税理士
監事	西枝康一	平成29年6月24日就任		有	弁護士
評議員	小久見豊子	平成27年6月18日重任		有	評議員志社女子大学非常勤講師
評議員	青山浩子	平成27年6月18日就任		有	(有)ヴィッセンシャフト取締役
評議員	大江加津雄	平成28年12月25日就任		有	京都市教育委員会参与
評議員	須内由紀	平成28年12月26日就任		有	
評議員	砂塚利彦	平成28年12月26日就任		有	砂塚コンサルティングサービス(株) 代表取締役
評議員	高津正紀	平成29年1月6日就任		有	立命館大学客員教授

2 会議に関する事項

1) 理事会

開催年月日	議事内容
第40回理事会 平成29(2017)年 6月7日	平成28年度事業報告案および決算承認案の承認の件 平成28年度定期提出書類の承認の件 任期満了に伴う理事および監事推薦の承認の件 定款変更の承認の件 規程の制定および改廃の件 (基本財産、特定資産管理規程の廃止) (資産管理・運用規程、音楽事業推進委員会規程の制定) (就業規則の改定) 音楽事業推進委員 選任の件 株主権行使承認の件 第17回評議員会の招集案の件
第41回臨時理事会 (書面)理事会の決議 があったとみなされ た日平成29(2017) 年6月30日	理事会の決議があったとみなされた提案事項 ・代表理事 選定の件 ・常務理事 選定の件
第42回理事会 平成29(2017)年 10月19日	四条烏丸オフィス就業規則 新規作成の件 一般公演の規程 新規作成の件 規程の修正の件 (助成公演規程、新人助成公演規程、財団の名称変更に伴う各規程の 財団名表記変更) 育成支援事業選考委員の承認の件 規程の修正の件

<p>第 43 回理事会 平成 30 (2018) 年 1 月 11 日</p>	<p>(青山音楽賞顕彰規程、通勤手当支給規程)</p> <p>2018 年度の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件</p> <p>2017 年度青山音楽賞受賞者決定の件</p> <p>事務局長選任の件</p> <p>2018 年度青山音楽賞審査員・選考委員選出の件</p> <p>2019 年度青山音楽賞授賞式の開催日の決定の件</p> <p>規程の件 (未来構想委員会規程、資産管理運用規程)</p> <p>定款変更の件</p> <p>一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 1 9 4 条の規定に基づく臨時評議員会招集の件</p> <p>資産運用アドバイザーの件</p> <p>学校等支援事業助成先決定の件</p>
--	---

2) 評議員会

開催年月日	議事内容
<p>第 17 回評議員会 平成 29 (2017) 年 6 月 24 日</p>	<p>平成 28 年度 事業報告案及び決算案の承認の件</p> <p>任期満了に伴う理事選任及び監事選任の件</p> <p>定款変更の承認の件</p>
<p>第 18 回評議員会 平成 30 (2018) 年 3 月 10 日</p>	<p>2018 年度の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件</p> <p>定款変更の件</p>